

## 令和5年度 第1回長野市青少年健全育成審議会議事録（要旨）

- 1 日 時 令和5年7月3日（月）午前10時から正午まで
- 2 場 所 長野市役所第1庁舎7階第1・2委員会室
- 3 出席者 委員14名、事務局12名

### 4 次 第

- (1) 開 会
- (2) 委員の委嘱
- (3) 教育次長あいさつ
- (4) 自己紹介
- (5) 会長及び副会長選出
- (6) 議 事（議事進行 会長）
  - ① 家庭・地域学びの課（青少年担当）の事業について
  - ② 少年育成センターの事業について
  - ③ （仮称）ながのこども館整備事業について
- (7) その他
- (8) 閉 会

### 5 会議録

#### (1) 教育次長あいさつ：

委員の皆様にはこれから2年間、青少年の健全育成や保護育成にかかわり、青少年を取り巻く様々な問題等についてご審議いただき、長野市子どもたち、保護者のために、お力をくださいますようによろしくお願ひしたい。本市では、明日を拓く深く豊かな人間性の実現を教育の基本理念に掲げ、その基本施策の具体化を図るために昨年度の4月に第3次長野市教育振興基本計画を策定した。この計画において、基本的方向の一つに「共に学び合い、育ちあう地域づくりの推進」を掲げている。少子化や核家族化の進行・インターネットなどの通信機器の急速な普及などにより、青少年を取り巻く環境が大きく変わってきている。青少年の育成には、家庭の教育力の向上や地域の支援が重要であると考えている。今後も計画に基づいて、家庭と地域、そして学校が連携しながら、引き続き青少年の健全な育成に努めてまいる。今月は青少年の非行被害防止全国強調であり、全国一斉に行政関係機関・地域住民等で啓発活動を行っている。本市においても長野駅前での街頭啓発活動を実施して、FMぜんこうじや広報ながのへの記事の掲載といった広報活動も行っている。引き続き、青少年の非行・被害防止への協力を呼び掛けていきたいと考えている。

## (2) 会長挨拶

長野市青少年健全育成審議会の会長の大役を務めさせていただくことになった。近年ますます青少年を取り巻く環境は厳しさを増しているように思う。外側に向かう問題は落ち着いているようにも見えるが、内側にいろいろな問題を抱え込んで、その結果として爆発してしまうという傾向は、ちらほら見られるという印象を持っている。また特に気になるのは、コロナの影響などもあり若い女性の方の自殺率が高まっているなど、考えなければならないことが多いと感じている。さらに、青少年の問題だけではなくて、私たち大人と青少年の関係のあり方が大きく変わってきている。昔のように大人のほうから青少年を指導するといった一方的な関係は成り立たない状況が広がっている。新しい青少年に対する支援のあり方を改めて問い直さなければならない時期に来ているのかとも考えている。課題は広いが、みんなが長野の青少年、ひいては長野の未来のために尽力したいと思うので、皆さんもご支援ご協力のほどよろしくお願ひしたい。

## (3) 議 事

### ア 報 告

#### (ア) 家庭・地域学びの課（青少年担当）の事業について

（説明：事務局）

（資料：令和4年度家庭・地域学びの課（青少年担当）の主な事業実施状況及び令和5年度事業計画）

- ・リーダーの育成、指導者団体（長野シニアリーダーズクラブ、成人指導者の会、動く子ども広場「すこやか号」）について
- ・長野市青少年健全育成審議会、青少年健全育成行事、青少年健全育成事業（子どもわくわく体験事業補助金）、家庭教育力向上（家庭教育講座等）について

#### (イ) 少年育成センターの事業について

（説明：少年育成センター）

（資料：令和4年度少年育成センター事業実施状況及び令和5年度事業計画）

- ・巡回指導活動、長野市青少年保護育成条例に関すること、少年相談活動、広報・啓発活動、研修活動、出前講座について

#### (ウ) （仮称）ながのこども館整備事業について

（説明：公園緑地課）

（資料：（仮称）ながのこども館整備事業について）

- ・事業の経過と工事概要について
- ・（仮称）ながのこども館1階・地下イメージ図について

## 【質疑・意見】

### 協議事項①について

(委員)

合併等で長野市全体では生徒数が増えてきていると思うが、リーダー活動参加者が逆に減っているということは、活動自体がずれてきているのではないかと感じる。例年同じ活動をされているが、環境は大きく変わってきている中これでいいのか。コロナで活動が縮小されていたと思うが、この後どのような今までと違った活動・子どもたちに合わせた活動を考えているか。民間の団体として、ボーイスカウトやガールスカウトといった団体もあるが、協力は考えているか。子どもたちの自殺防止に関する活動や今子どもたちの環境を取り巻く状況として、教育用のタブレットや携帯電話などのメディアに対するネットリテラシーという教育をどのくらいやられているのか気になる。

(事務局)

平成16年と平成22年の2回市町村合併をし、今現在2万6千人の小中学生がいる。小中学生を取り巻く環境は、部活動・個人での勉強・塾に通うなど時間の取り方が昔と全く変わっており、シニアリーダーズクラブに所属して活動する、地域の中に溶け込んで活動することが非常に少なくなっているのは事実だと認識している。

それと相まってコロナの影響が非常に大きく、子ども会・育成会の活動がこの2・3年ほとんどできない状況が各地区でも起きている。コロナも本年の5月から5類相当に変わり、各地区で子ども会・育成会の活動を再開しようとしているが、役員が変わるなどして非常に苦慮しているという意見を聞いている。シニアリーダー・シニアリーダーズクラブ等々の活動をもう少し活発化させて、地域の子ども会・育成会活動が活性化するような取り組みをしていきたい。またガールスカウト・ボーイスカウトの皆さんにも、私どもの事業の「わくわく体験事業補助金」を使っていただきながら、活動をしていただいている。その他事業と絡んでできることがあれば取り組んでいきたいと感じている。

メディアリテラシーの関係等については、少年育成センターが各学校へ出前講座等を行っている。また子どもの自殺防止事業につきまして、直接的に行っているものはないが、そういった観点からも取り組んでいきたい。

(委員)

青少年に限らずかもしれないが、地区のごみゼロ運動など昔は子どもも親もいて実施していた地域の光景が、ここ数年ガラッと変わり、大人が出ない、子どもも親を見ているので出てこないで、子どもの姿が減ってしまった感じがする。このままいくとおそらく人口も減り、誰も出てこないとなると、長野市としても困るのではないかと。地域の楽しいお祭りなど、地域全体で子どもが参加できる施策があれば教えてほしい。

(事務局)

直接的に私たちの主管している所ではないが、公民館活動等の中で地域の運動会や大人と子どもと一緒に活動できる場、地域によって大人と子どもの学習の場、地域の歴史を学ぶ場などがある。先ほどの説明の中であった「わくわく体験事業補助金」を地区の子ども会・育成会で活用していただき、子どもたちの体験活動を支援している。

## 協議事項②について

(委員)

出前講座が年間50以上になると思うが、誰が何人くらいの体制で行っているのか。非常に大変だと思うが、お金と人をかけてやるべきと思う。また、DVDの貸出について、DVDは比較的内容が古いことが多い。毎年更新しても間に合わないくらいなので、どう対応されるのか。

出前講座をやっていて子ども・親が一番食いついてくるのは、実際の事例・何があったのか、「自分たちが何の気なしにやったことが実は犯罪行為に当たる」というところが一番食いつく。ぜひ実際の事例を、当然プライバシーの侵害のないようにして、教科書・課題として皆さんに教えてあげるのが一番効果的と思う。

(事務局)

少年育成センター主事2人を中心に対応している。中央警察署あるいは県の少年サポートセンターとの連携があるので、資料をいただいたり実際に来てお話していただいたりしているが、基本的には二人でやっている状況。DVDは平成27年28年に作成されたものを使っている。その後は新しいものが作られていないようであるが、今はDVDの時代ではなく、動画を使ってくださいという言い方もあった。平成27年28年に作成されたDVDでも観た方の感想を見ると「大事なことです」改めて大変さがよく分かりました」といった感想をいただくので、多少私たちにとっては古いが、観る皆さんにとっては耳新しいと思う。

実際の事例をお話して、より危機感をもって安全な使い方・安心な使い方をしてもらいたいところも思う。私たちもメディアに流れるものについて、今どんなことが問題になっているのかを常に学んでいかなければならないと考えている。また、少年相談専門委員になっていただいている現場の先生方に、実際に起きている問題について事例を持ってきてもらい、関係機関も方々と一緒に考え、現場に持ち帰り伝えていく機会を設けている。スマホが関連した問題が多いが、保護者がなかなか動かない・動けないという声もあるので、どう連携していくかがこれからの大きな課題と考えている。

## 協議事項③について

(委員)

昨日県立の美術館に行ったが、駐車場が満杯だった。(仮称)ながのこども館ができれば駐車場のニーズがさらに高まると思うが、増やす予定はあるか。

(事務局)

美術館ができる前は、駐車場は約 150 台程度しかなかったが、美術館の建設と噴水広場の再整備の中で地域の皆様の駐車場不足のお話をお聞きし、現在NHK跡地と城山市民プール跡地に駐車場を整備している。NHK跡地の駐車場は約 450 台駐車できるようになる。ただ、車で来園される方が多いので、いくら増やしてもすべての皆様が満足する台数は確保できない。今の段階では台数を増やして対応するが、今後は公園の来園者以外に停めている方が多くいるのではないかとということもあり、有料化について検討していきたいと考えている。

(委員)

一利用者として大変ありがたいと思う。駐車場が袋小路になっているので、奥の駐車場は満車だとわかるデジタル看板などがあればいいなと思うので検討いただきたい。

(事務局)

検討してまいりたいと思う。

## 全体をとおして

(委員)

子どもが増えているのに様々な行事の参加者が減っているのではという話があったが、今長野市の中で子ども会・育成会を活発にしようという声掛けがされていないのが一つ大きな原因であると思う。

過去、篠ノ井地区で育成会長をしたとき、育成会は何をするのか全く分からなかったため、当時の長野市青少年課が主催する指導者研修会に参加した。育成会というのは町の中に大きな家族を作って一緒に兄弟のように育てるという話を聞き、そうすると大きい子が小さい子の面倒を見てくれるようになり、この兄弟関係を作っていくのが一番の目的だとして一生懸命活動した。そのためには大人の力だけは手が足りないので、中学生が手伝ってくれるように、リーダー研修会に子どもを7・8人連れて通ったことを覚えている。

地域の育成会を活発にしようというニーズが出てくれば、リーダー研修会の参加者もおのずと増えてくるのではないか。「コロナ禍で行事等しなくても過ごせたならば子ども会・育成会はいらないのではないか」という意見がどの地区も出ていると思う。提案として、最近長野県子ども会育成連合会で「子ども会ガイドブック」というリーフレットを作成した。長野市の子ども会にも新しい役員方の必読書として配っていただけたらと思う。ぜひ検討してほしい。

(事務局)

現在子ども会育成会は住民自治協議会の所属の中で活動していただいているため、なかかこれといった強い支援策が出せていないは重々承知している。今のお話を元に、できるだけ啓発活動、あるいは言われたガイドブック等を地域の方に提供できるような形ができないかどうか検討してまいりたいと思う。

(委員)

海外に子どもたちが遊び方やデザインを考えたという公園があった。いよいよ日本もこども基本法ができることもあり、大人が決めるのではなく、子どもが考えて決める機会を大人が企画する仕組みも検討してほしい。